

第261回

荒川の 人

誰もやらないことで切り開いた新境地。
いつか新日本プロレスの試合を荒川の街で!

プロレスラー 矢野 通さん

【プロフィール】1978年生まれ。小学生からアマレスを始め、フリースタイル、グレコローマンで活躍。高校時代は全国高校選抜、全国高校総体、国体で優勝。日本大学時代、全日本学生選手権でフリー、グレコの両部門を制覇し、文部大臣杯を獲得。2001年、新日本プロレスのアマレス部門「闘魂クラブ」入門。翌年プロレスラーとして新日本プロレスでデビュー。2008年には真壁刀義と組んで第51代IWGPタッグ王者となる。愛称はYTR、敏腕プロデューサー 186cm、115kg



男性の野太い声だけが飛び交っていたのは今や昔。会場では黄色い声援も聞こえるようになり、プロレスはたくさんの方が楽しめるスポーツとなりました。俳優顔負けのイケメンレスラーなど個性豊かな猛者たちが熱戦を繰り広げる新日本プロレスのリングでひととき異彩を放っているのが矢野通さんです。リング内外でマルチな活躍を見せる矢野通さんに時間無制限1本勝負でお話を伺いました!

高校3年時にはジュニア4冠に。日大レスリング部ではレスリング史上5人しか達成していない学生王者と大学4冠に輝きました。

敷かれたレールに乗ってきた人生 道を逸れたことで見えてきた風景

大学卒業後は日大OBの薦めで新日本プロレスのアマレス部門「闘魂クラブ」へ。社員として働きつつ五輪出場をめざすも力及ばず。競技生活にピリオドを打つと、プロレスラーとしてのキャリアがスタートしました。

「プロレスラーの挨拶は朝晩関係なく『お疲れ様です!』そんなしきたりを知るはずもなく『おはようございます!』と先輩に挨拶しただけで、怒られました」と入門当時を振り返ります。また、リングの四方に張られたロープも矢野さんを苦しめました。「ロープの内側は金属のワイヤーになっていて、ロープを背中から受けた時の痛みはすさまじかったですね。ヒンズースクワット1000回など、プロレスは精神的に追い込む反復練習がとにかく多い! アマレスでもハードな練習を積んできましたが、毎日筋肉痛に襲われていました」

新日本プロレスで行う試合数は年間約150試合。持ち上げるベンチプレスの重さ150kg以上、焼肉20人前、焼酎2升など一瞬耳を疑ってしまう超人的な当時の数字が矢野さんの口からポンポンと飛び出てきます。

プロレスラーとしての信条は「人と同じことをやらない」。その言葉どおり試合中にしっかり自伝の宣伝をするなどやりたい放題。ヒール(悪玉)でありながら、どこか憎めない「YTR」は新日本プロレスにはなくてはならない存在です。「華麗な空中技はできないし、やったとしても敵いません。ならば他の選手がやらないことをして、目立ってやろうと思っています!」プロレスはこうあるべきという既存概念に縛られない柔軟な発想が生み出したオンリーワンのファイトスタイルで矢野さんは四角いジャングルをしたたかに生き抜きます。

活躍の舞台はリングを超えて 荒川区の魅力を発信したい

引退後は飲食店を開きたいと漠然と考えていた矢野さん。やるなら早い方がいいという声もあり、そのわずか半年後には水道橋にスポーツバー「EBRIETAS(エーブリエターズ)」を開店させました。「初めての飲食店経営は試行錯誤の連続です。内装はブルーを基調にしたんですが、食欲を減退させる色だと後から知りました!と豪快に笑い飛ばします。「何事も大事なのは考えすぎないこと。深く考えても仕方ありませんからね。来店時に『ほっとタウン』を見たと言ってくればワンドリンクサービスしますよ!」と太っ腹。それでもインタビュー時には、取材スタッフに氷あり・なしでお茶を用意してくださるなど、底抜けの豪快さの中に矢野さんの細やかな気配りが垣間見えました。

「幼い頃から荒川区は平和な街というイメージがあります。いつか区内で新日本プロレスの試合を開催するのが僕の夢。縁あって(北海道)登別市で観光大使を務めていますが、実は荒川区観光大使にも興味があります。巡業先のリングで荒川区の魅力をどんどんアピールしちやいますよ!と「崇高なる大泥棒」は観光大使の座を虎視眈々(こしたんたん)と狙います。

新しい年の幕開け、プロレスの世界に酔いしれてみてはいかがでしょうか。

「虎の穴」は東尾久にあった!?

黙々と歩み続けたレスリングエリートの道

アントニオ猪木さんや闘魂三銃士の勇姿に熱狂し、憧れの新日本プロレスでプロレスラーになる夢をつかんだ、と思いきや、意外にもプロレスに興味がなかったという矢野さん。

「元アマレス選手の父が僕と兄に五輪出場の夢を託し、毎日ひたすらトレーニング。控え目な性格だったので父に反抗することもできず、なぜこの家に生まれてしまったんだろうと本気で思っていました(笑)」お父さんは印刷業を営むかわら「赤土小レスリングクラブ」を結成。小学生の頃の矢野さんの日課は尾久の原公園の木に向かってタックルすること。中高一貫の私立高に通っていた6年間は徒歩とランニングでの通学が課されていたそうです。レスリング一色の青春を送る矢野さんはレスリングエリートの道をひた走っていきます。中学3年で95kg級を制し、



盟友でもある、オカダ・カズチカ選手は現IWGPヘビー級王者として新日本プロレスに君臨 (写真提供: 新日本プロレス)



WRESTLE KINGDOM 14 in 東京ドーム

2020年1月4日(土)
OPEN 15:00/START 17:00
2020年1月5日(日)
OPEN 13:00/START 15:00
<https://www.wrestlekingdom.jp/>

6名の女性アスリートが
職員として働きながら
競技と仕事を両立しています。



フリースタイルスキー・
ハーフパイプ
鈴木 沙織



木曾路のどらふぐ

期間: 3月31日(火)まで

ふぐ唐揚げ 1,300円(税込1,430円)

てっさ 大皿盛り(3~4人前) 3,500円(税込3,850円) / ハーフ(1~2人前) 2,000円(税込2,200円)

焼きふぐ 1,800円(税込1,980円)

ひれ酒 800円(税込880円)

お昼の新年会

期間: 1月6日(月)~2月22日(木)まで

かに御膳 3,000円(税込3,300円)

新年会ご宴会ご予約承ります。

※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店
荒川区南千住 5-6-15
電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 税抜2,000円以上の料理をご注文に限りです。
- オレンジジュース、アップルジュース、烏龍茶からお選びください。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- 2020年1月31日まで有効
- 木曾路南千住店のみ有効